

東北地方の持続可能な食料生産のこれから

畜産業、水産業

日本学術会議東北地区会議公開学術講演会

我が国の食料自給率は、現在38%前後で推移し、食料の約60%を輸入に依存しています。昨今の世界的食料需要の増大、気候変動などの食料安全保障リスクを背景に、本年、食料・農業・農村基本法が25年ぶりに見直されました。水産業では、2018年に70年ぶりに漁業法が改正、2022年に「水産基本計画」が新たに閣議決定されました。東北地方が生み出す農業産出額は日本全体の約15%、漁業産出額は約12%を占め、東北6県の食料自給率は約70〜200%を維持しています。

本講演会では、日本の食料安定供給を支える東北地方で、主として動物性タンパク源を供給する畜産業と水産業に焦点をあて、現状と課題、産業を支える学術研究、地域企業の取組などを紹介し、食料安全保障リスクに対し盤石な東北地方の持続可能な食料生産の在り方などについて、参加者の皆様と共有いたします。

2024年
11月30日(土)
13:30~16:35

参加申込はこちら

【締切】2024年

11月24日(日)

対面・オンライン参加共通

<https://forms.gle/Y4ADPm5WBcu1E9ocA>

参加費
無料

事前
登録制



次第

1 開会挨拶

日比谷 潤子 (日本学術会議副会長)

2 講演

I 地球規模の人口爆増・食料危機における畜産の必要性と役割

眞鍋 昇 (大阪国際大学 学長補佐/人間科学部教授)

II 人工知能を活用した畜産現場における飼養管理技術の開発

市浦 茂 (山形大学アグリフードシステム先端研究センター助教)

III 蔵王和牛 私たちが信じる「本当のおいしい」を鮮度そのままに届けるために — 高橋畜産グループの挑戦 —

高橋 勝幸 (株式会社蔵王ファーム 代表取締役)

IV 変化が続く水産業の現状と課題

大越 和加 (日本学術会議第二部会員、東北大学大学院農学専攻教授)

V 磯焼けの解決がもたらす脱炭素と持続可能な地域の構築をめざして

西川 正純 (日本学術会議第二部会員、宮城大学理事/副学長/食産業学群教授)

VI 持続可能な水産資源の維持確保に向けていま取り組みたいこと

土合 和樹 (株式会社フィッシャーマン・ジャパン・マーケティング取締役 COO)

3 総合討論

ファシリテーター

北川 尚美 (日本学術会議第三部会員、東北大学大学院工学研究科研究科長補佐/教授)

パネリスト

眞鍋 昇/市浦 茂/高橋 勝幸/大越 和加/西川 正純/土合 和樹

4 閉会挨拶

五十嵐 和彦 (日本学術会議第二部会員、日本学術会議東北地区会議代表幹事、東北大学大学院医学系研究科教授)

司会進行

木村 直子 (日本学術会議第二部会員、山形大学大学院農学専攻教授)

【会場図】



東北大学片平キャンパス片平北門会館2階エスパス
(宮城県仙台市青葉区片平2-1-1) ※参加には事前登録が必要です。

主催：日本学術会議東北地区会議

共催：国立大学法人東北大学

後援：公益財団法人日本学術協力財団、国立大学法人山形大学、公立大学法人宮城大学、大阪国際大学

お問い合わせ：東北大学研究推進課 TEL022-217-4840